

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 号		
所属	医学系専攻 保健学分野 成人保健学ユニット	氏名	岡野 怜己
学位論文題目	Convergent validity of a simplified device and relationship between blood lactate and salivary lactate after a vertical squat jump in healthy non-athletes		
論文審査担当者	主査 百瀬 公人 副査 青木 薫・松田 佳和・西澤 公美		
(学位論文審査の結果の要旨)			
<p>本研究は高強度運動負荷時における唾液中乳酸値が血中乳酸値とどのような関係があるかを明らかにした論文である。また、簡易乳酸測定器を用いて唾液中乳酸値を測定しているため、その測定方法の妥当性についても検討した。</p> <p>運動中の生体反応は呼気ガス分析装置や血中乳酸値を用いて計測する方法が主流であり、大掛かりな機器が必要とされるか、侵襲を伴う方法が主流であるが、今回の方法は非侵襲で簡易的であることが特徴である。今回の計測については、計測の値も異なることが明らかとなり、妥当性検証の被検者数が少なく十分な妥当性や信頼性が明らかにはならなかったが、今後の可能性を期待させる方法であった。</p> <p>また、高強度運動負荷試験を実施した今回の研究では、持続運動負荷試験の結果と異なり、血中乳酸値より唾液中乳酸値の方が5分遅れて反応することが明らかになった。これは運動様式の違いの影響が考えられる。</p> <p>この研究の研究計画は十分に準備されており、また、倫理に対する配慮も十分されていた。さらに、得られたデータの処理および統計学的手法には問題が無かった。また、結果の解釈においても論理性が十分にあり、問題が無かった。</p> <p>今後、臨床応用が考えられる価値のある研究であり博士論文に値すると考えられる。</p> <p>以上のことから、本論文は博士論文としての十分な内容と非常に高いレベルの成果を示しており、優秀であると評価できる。</p> <p>これらのことより、主査、副査は一致して本論文を学位論文として価値があるものと認めた。</p>			